

6 外壁標準構法

6-1 縦壁HDR構法(一般用)

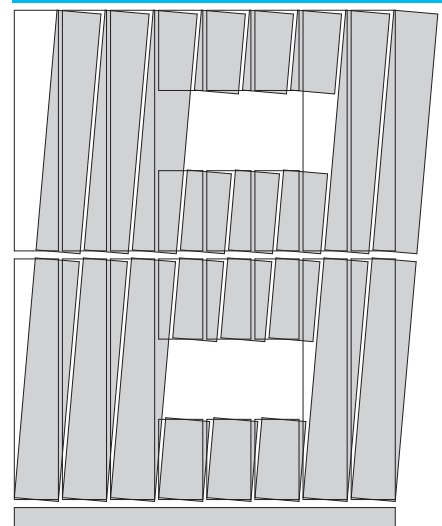
適用範囲

風圧力	正圧 6,000N/m ² 以下 負圧 6,000N/m ² 以下
対象パネル	100mm、125mm、150mm 厚平パネル 100mm、125mm、150mm 厚意匠パネル ※ 100mm 厚意匠パネルの風圧力は正負 2,000N/m ² 以下

縦壁HDR構法(一般用) キープラン

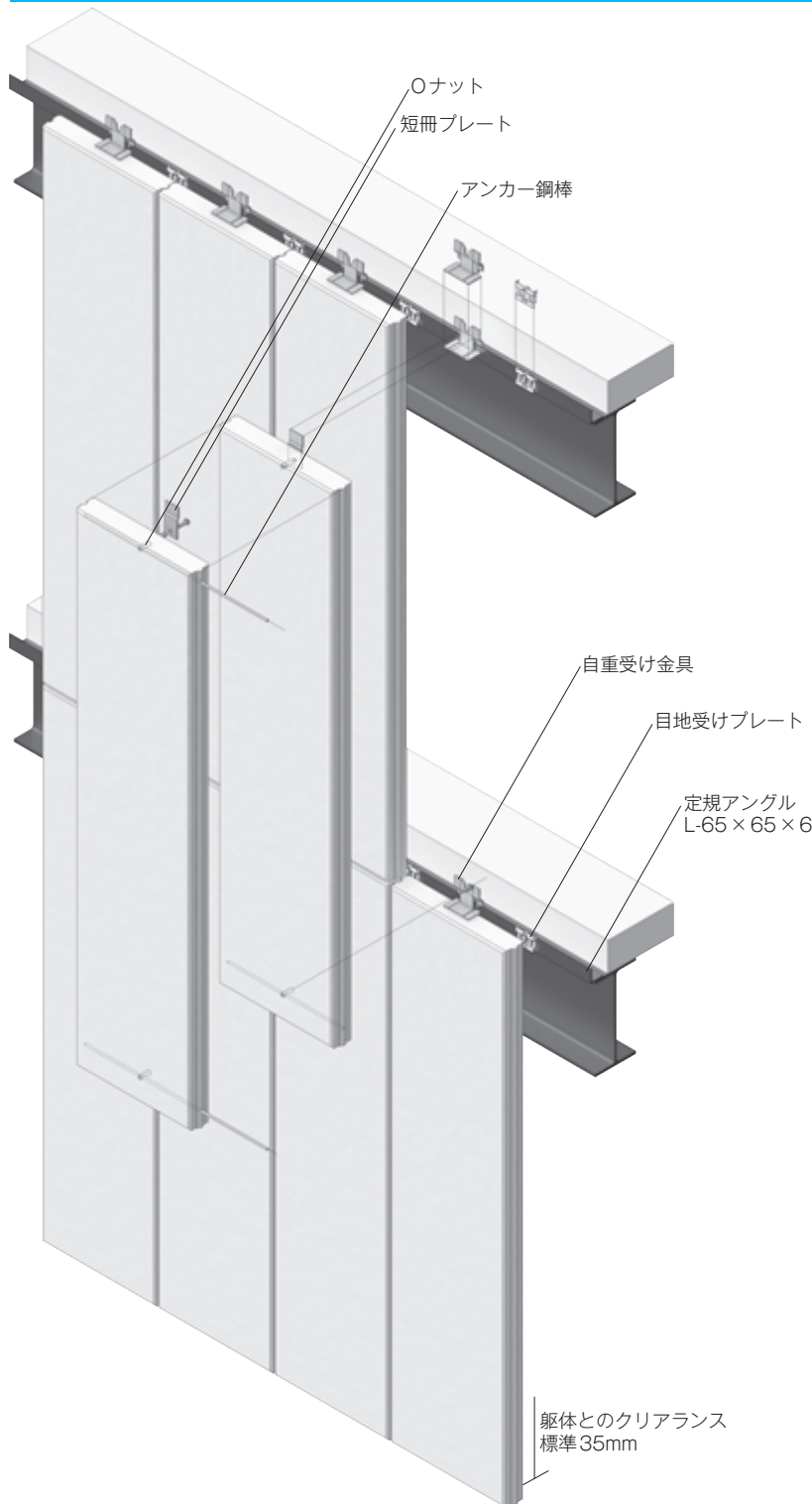


地震時のパネルの挙動

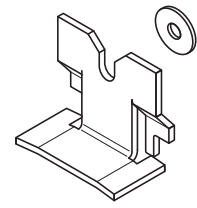


標準構法図A～Hの色文字は別途工事を示します。

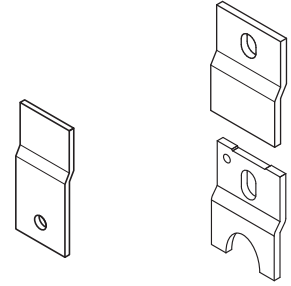
取付構法の概要



縦壁HDR構法専用取付け金具

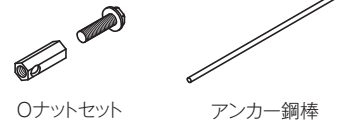


自重受け金具セット



短冊プレート

イナズマプレート

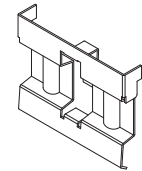


Oナットセット

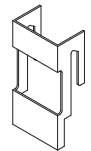
アンカー鋼棒



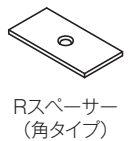
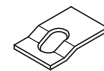
PUB金具



目地受けプレートM



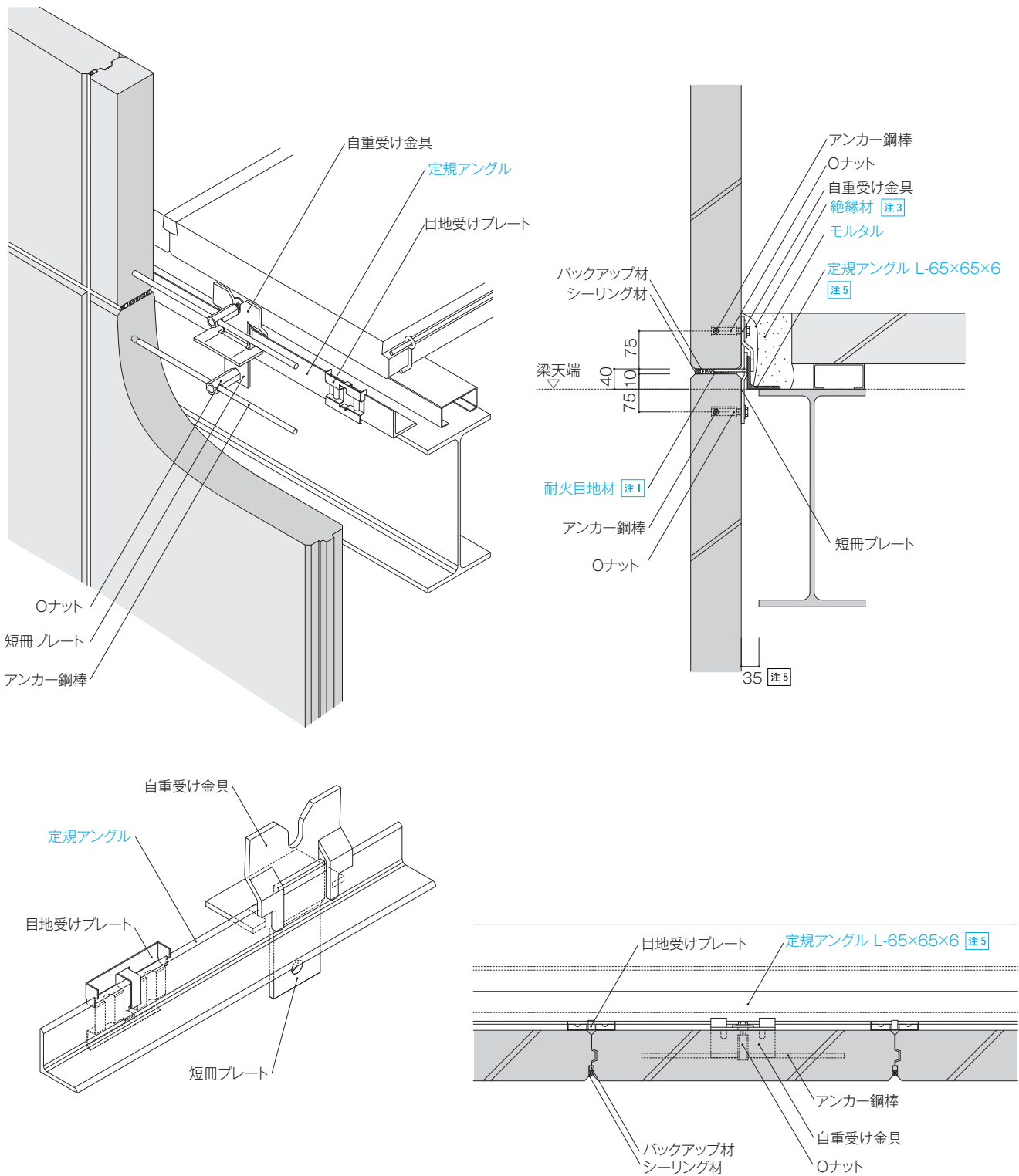
目地受けプレート40

Rスペーサー
(丸タイプ)Rスペーサー
(角タイプ)

ベースクリップ

縦壁HDR構法の注

- 【注1】耐火目地材：横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てる。
- 【注2】PUB金具：開口部周辺のパネルを PUB金具で取り付ける場合、パネル長さ1,500mm以下で、負の風圧力2,000N/m²以下の場合に使用できる。ただし、はね出しで使用する場合は、所定の許容荷重以下であることを確認する。
- 【注3】絶縁材：床取合い部では、モルタルがパネルのロッキングを拘束しないように、パネルとモルタルの間に全長にわたって絶縁材を設ける。
- 【注4】Rスペーサーは、厚さ100mm(意匠パネル100mm、125mmを含む)の場合に限り、丸タイプを使用することができる。ベースクリップを使用する場合は、角タイプを使用する。
- 【注5】平パネル厚さ150mmの場合、自重受け金具を取り付ける定規アングルはL-75×75×6を使用する。またパネルと躯体とのクリアランスは45～50mmとする。
- 【注6】ベースクリップ：1階の基礎部には、アンカー筋と定規アングルの溶接のために、ベースクリップを使用することができる。

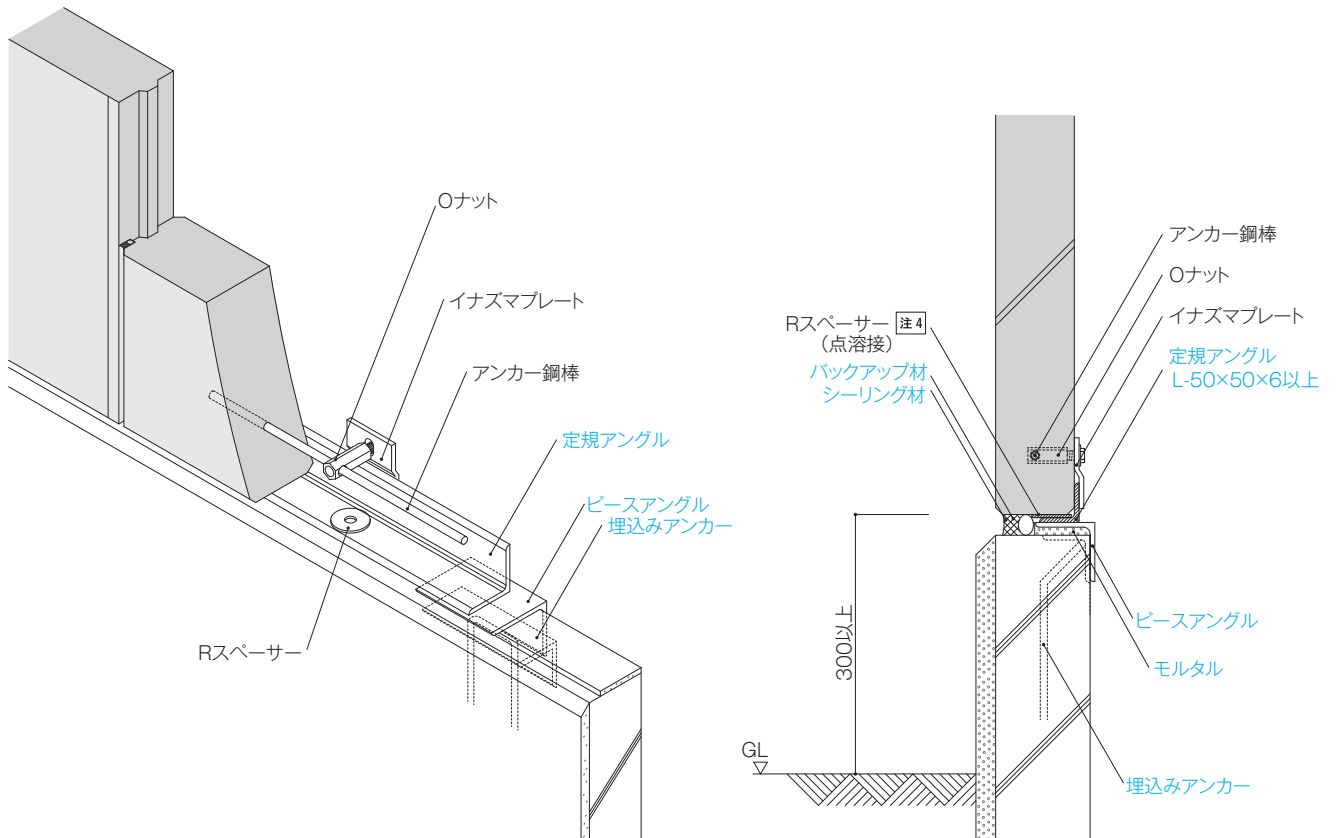


【注1】耐火目地材：横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てんする。

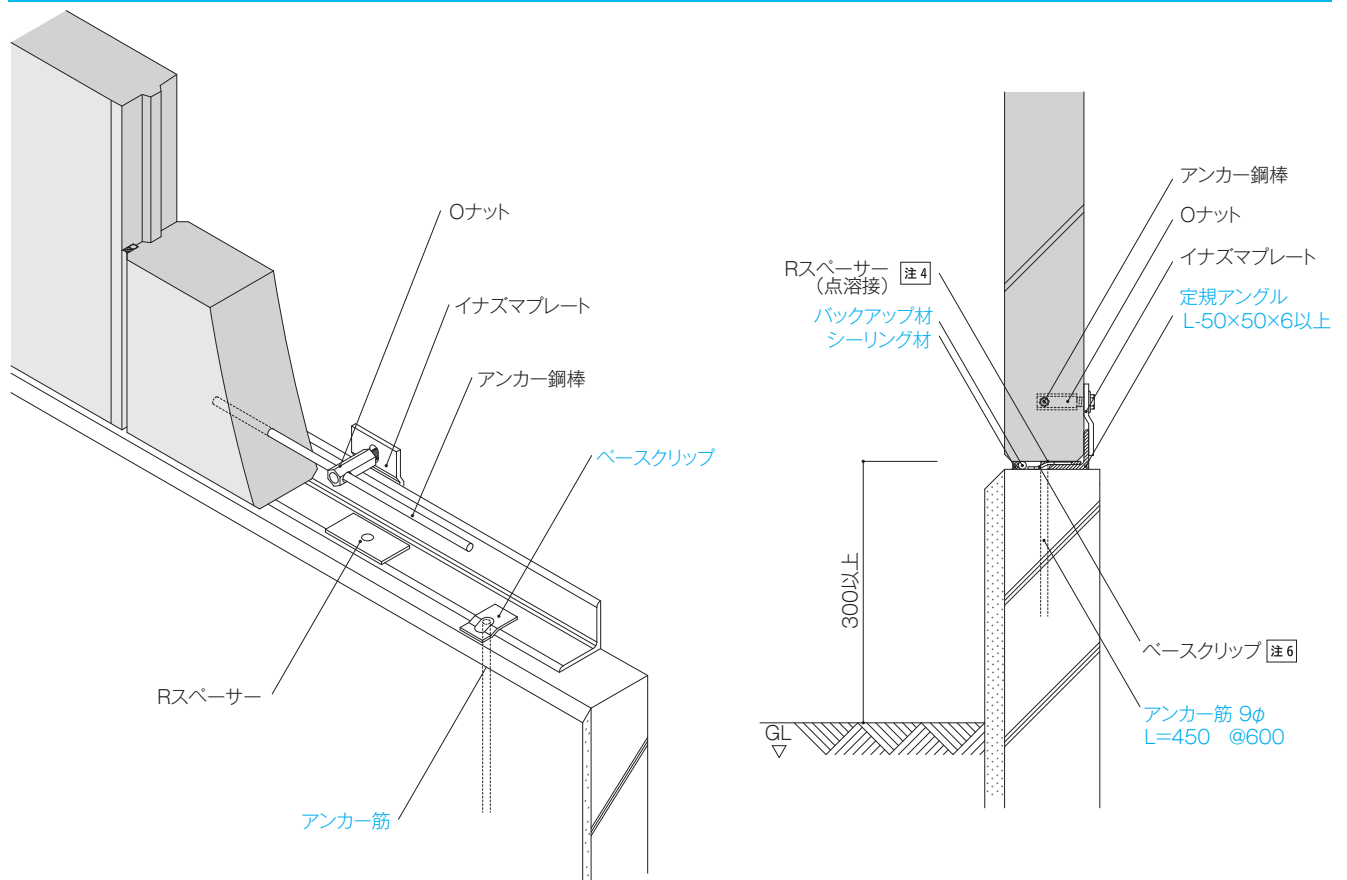
【注3】絶縁材：床取合い部では、モルタルがパネルのロックを拘束しないように、パネルとモルタルの間に全長にわたって絶縁材を設ける。

【注4】Rスペーサーは、厚さ100mm(意匠パネル100mm、125mmを含む)の場合に限り、丸タイプを使用することができる。ベースクリップを使用する場合は、角タイプを使用する。

基礎部 / B部 (埋込みアンカー仕様)



基礎部 / B部 (ベースクリップ仕様)



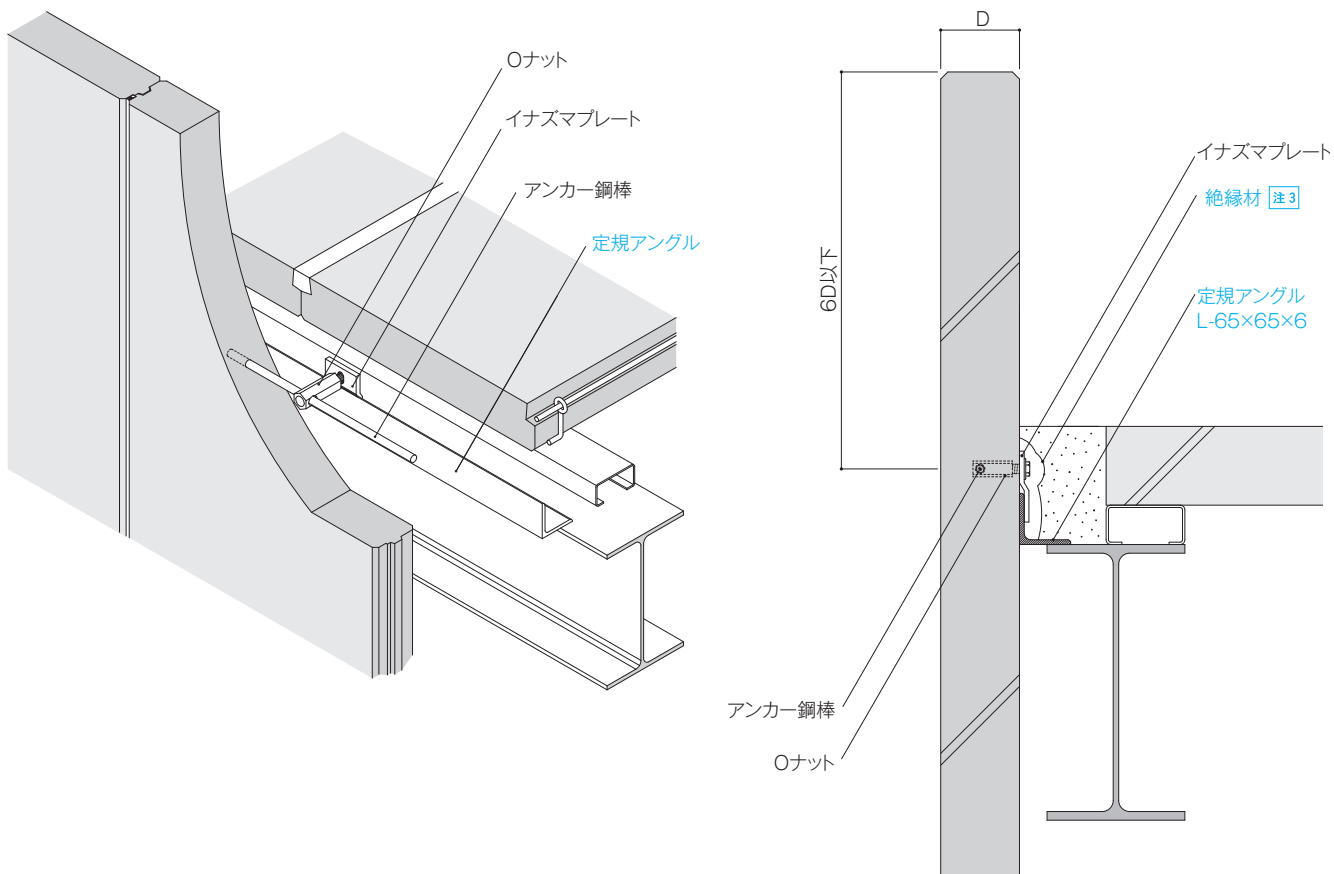
※基礎コンクリート打設時に天端均しを行い、レベル出しを行ってください。

※アンカー筋による基礎部の納まりの場合、パネル長さに荷重の制限があります。(ex. パネル長さ 3,500mm の場合 2,230N/m² 以下)。

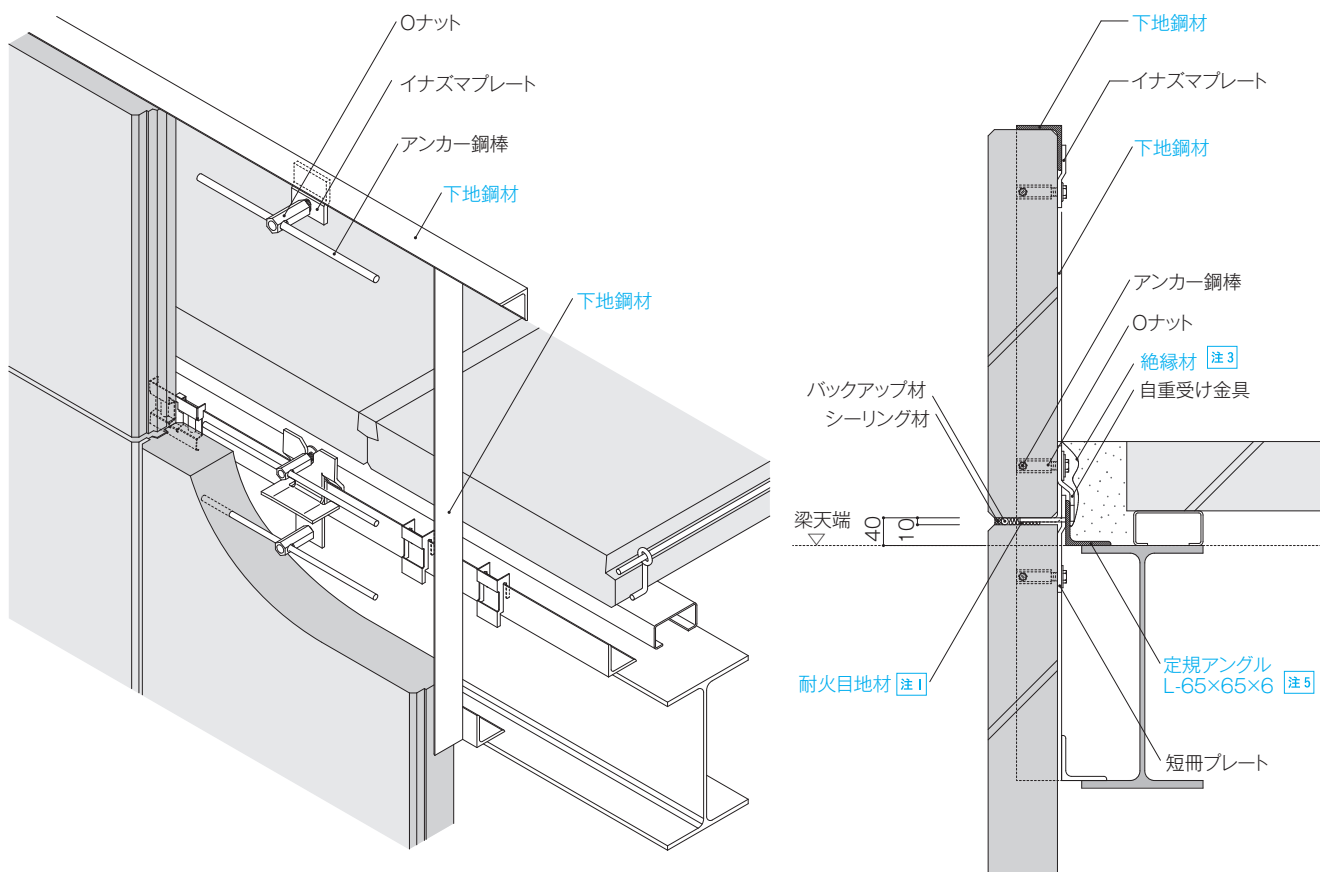
注5 平パネル厚さ 150mm の場合、自重受け金具を取り付ける定規アングルは L-75 × 75 × 6 を使用する。またパネルと躯体とのクリアランスは 45 ~ 50mm とする。

注6 ベースクリップ：1階の基礎部には、アンカー筋と定規アングルの溶接のために、ベースクリップを使用することができる。

パラペット部 / C 部



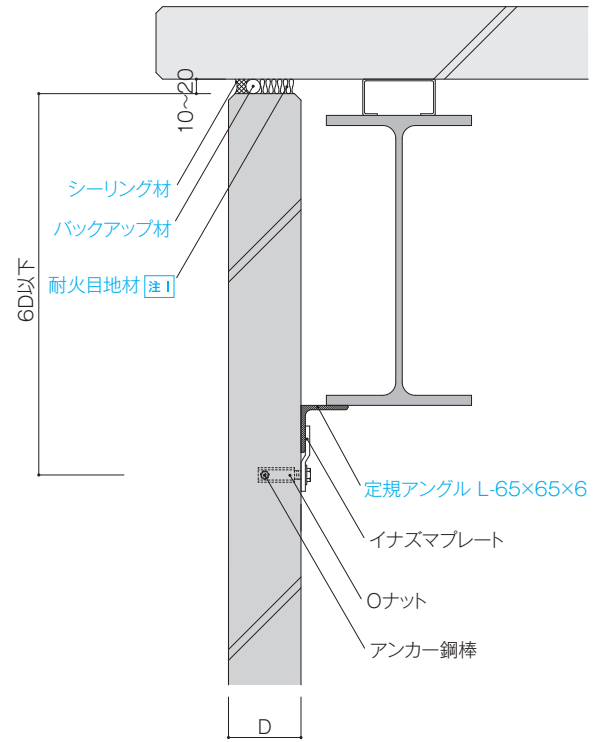
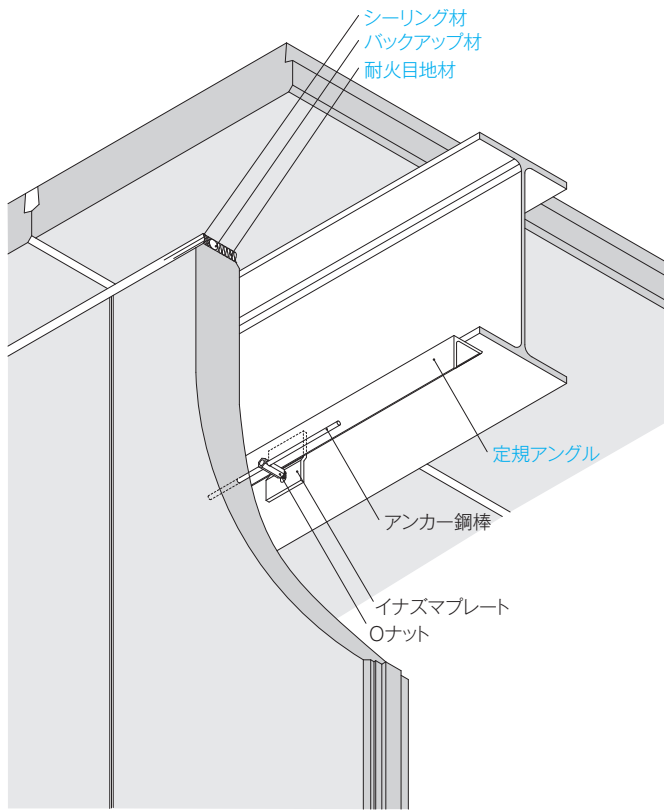
パラペット部 / D 部 (6D を超える場合)



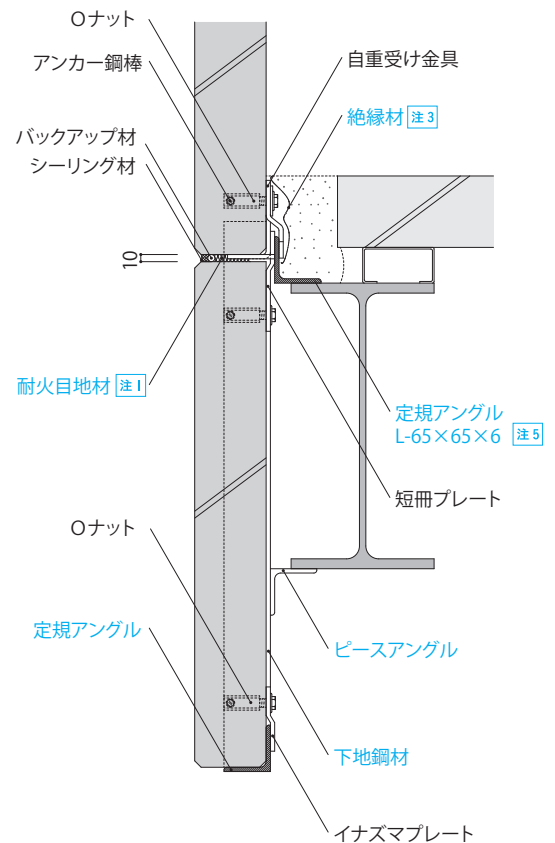
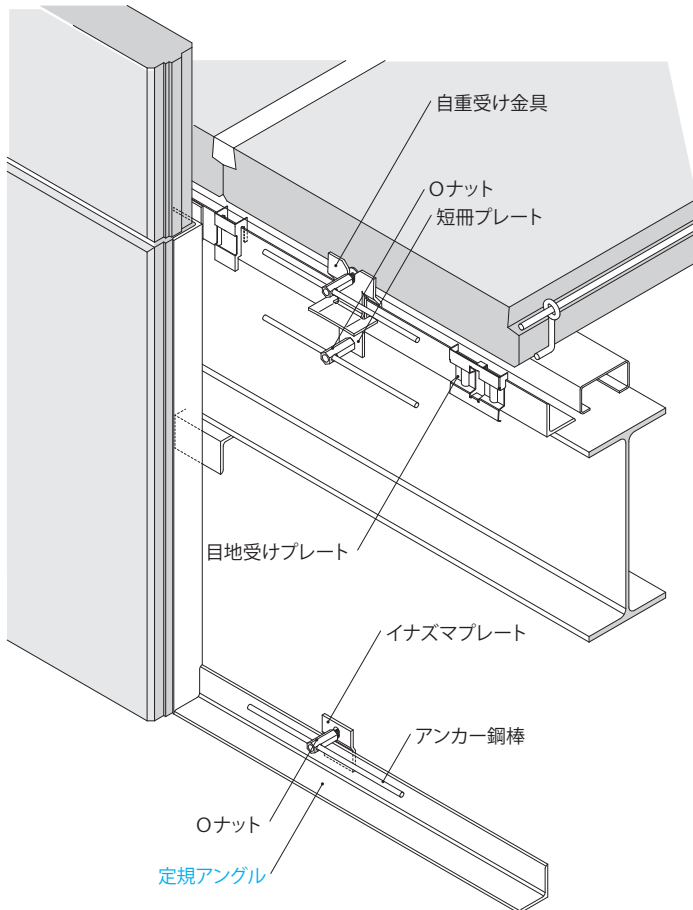
[注1] 耐火目地材：横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てる。

[注3] 絶縁材：床取合い部では、モルタルがパネルのロックを拘束しないように、パネルとモルタルの間に全長にわたって絶縁材を設ける。

軒部/E部

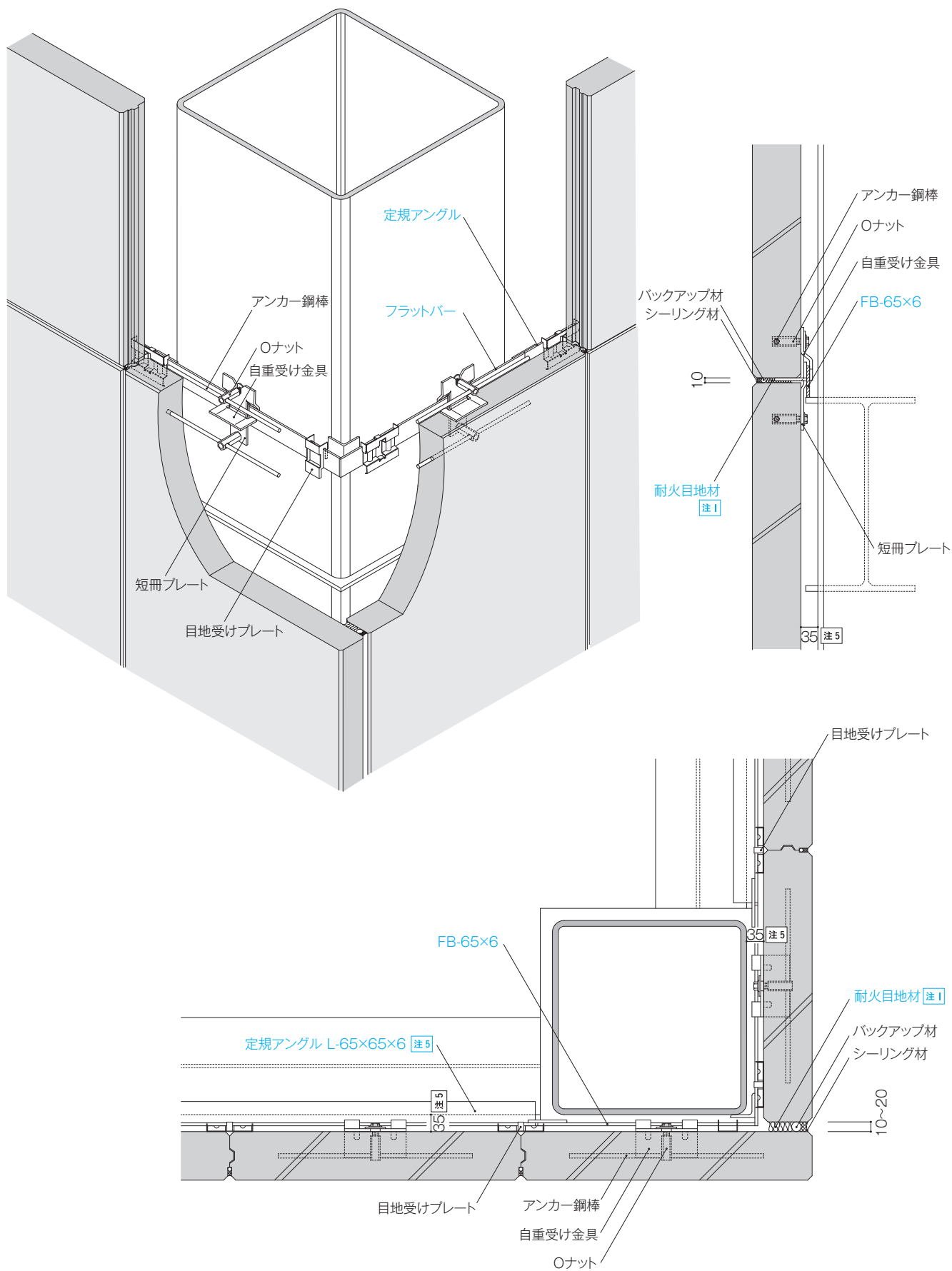


下がり壁部/F部(Oナット仕様)



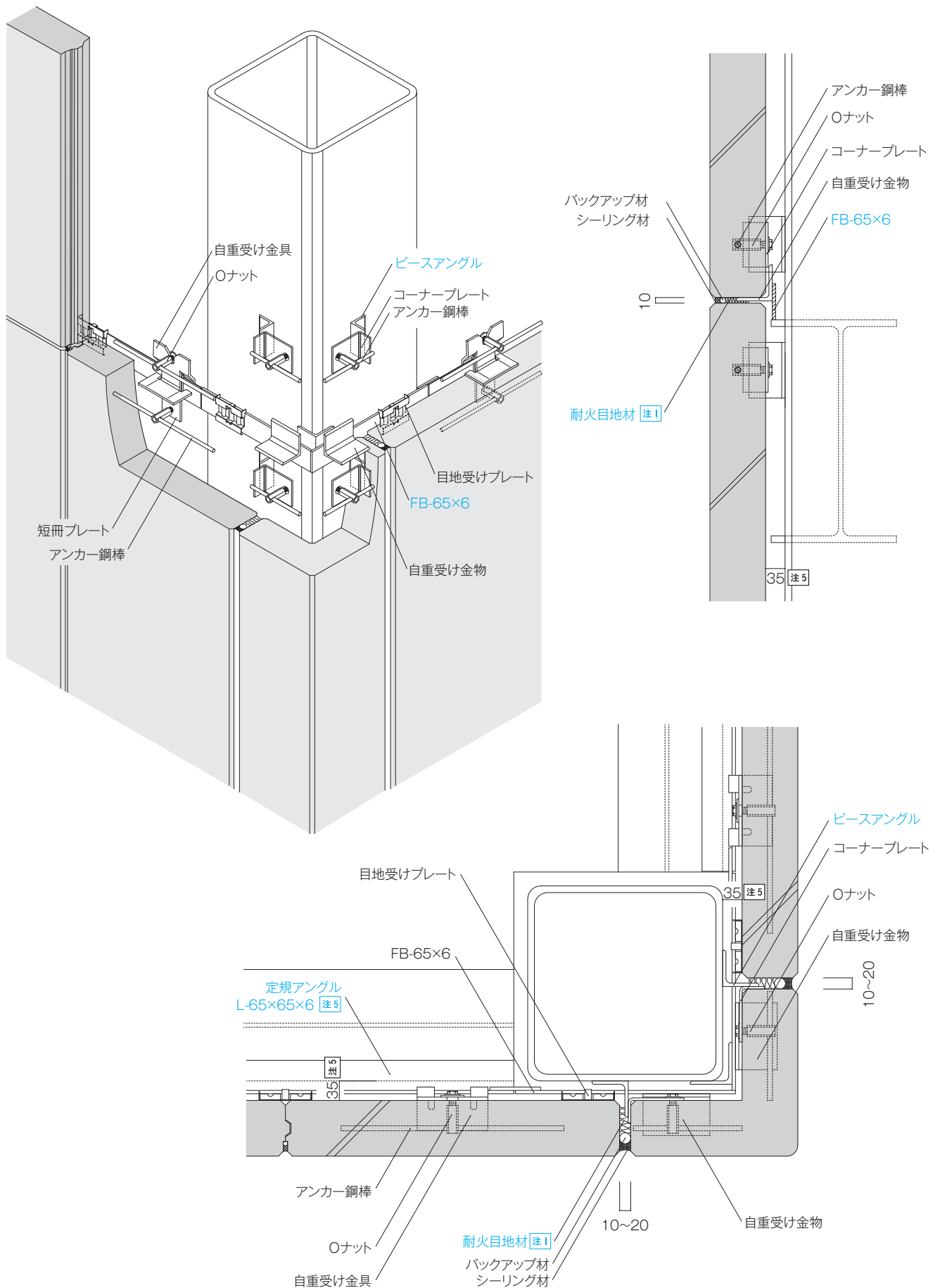
注5 平パネル厚さ150mmの場合、自重受け金具を取り付ける定規アングルはL-75×75×6を使用する。またパネルと躯体とのクリアランスは45~50mmとする。

出隅部 / G 部 (平パネルを使用する場合)



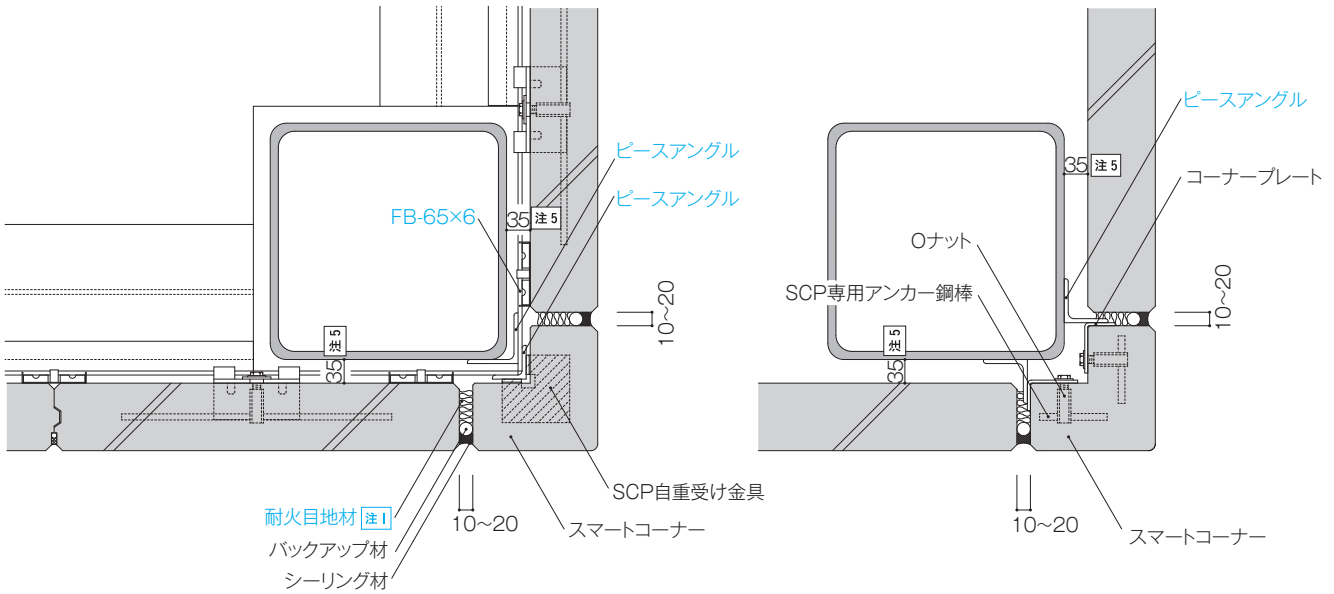
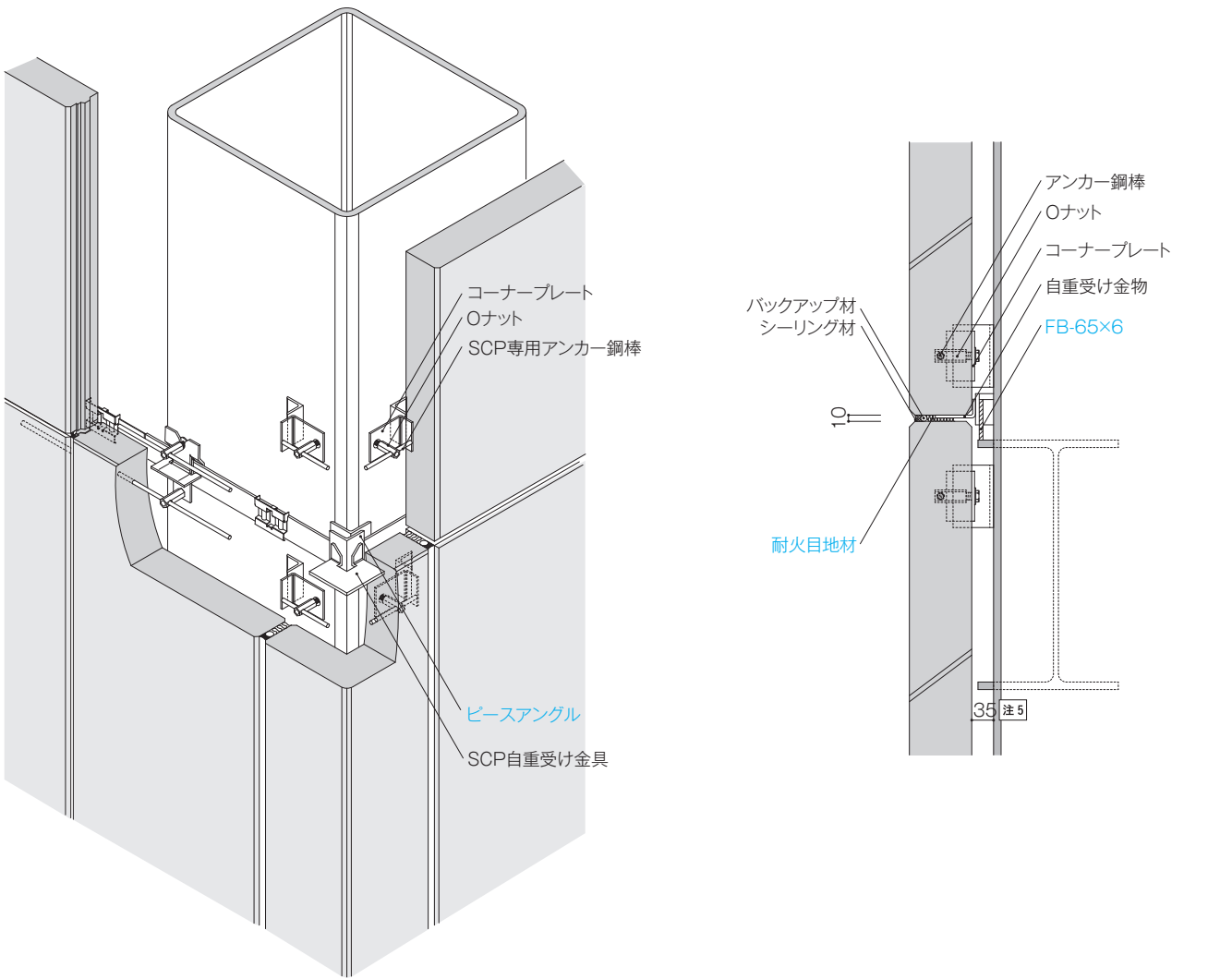
[注1] 耐火目地材：横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てる。

出隅部/G部(コーナーパネルを使用する場合)



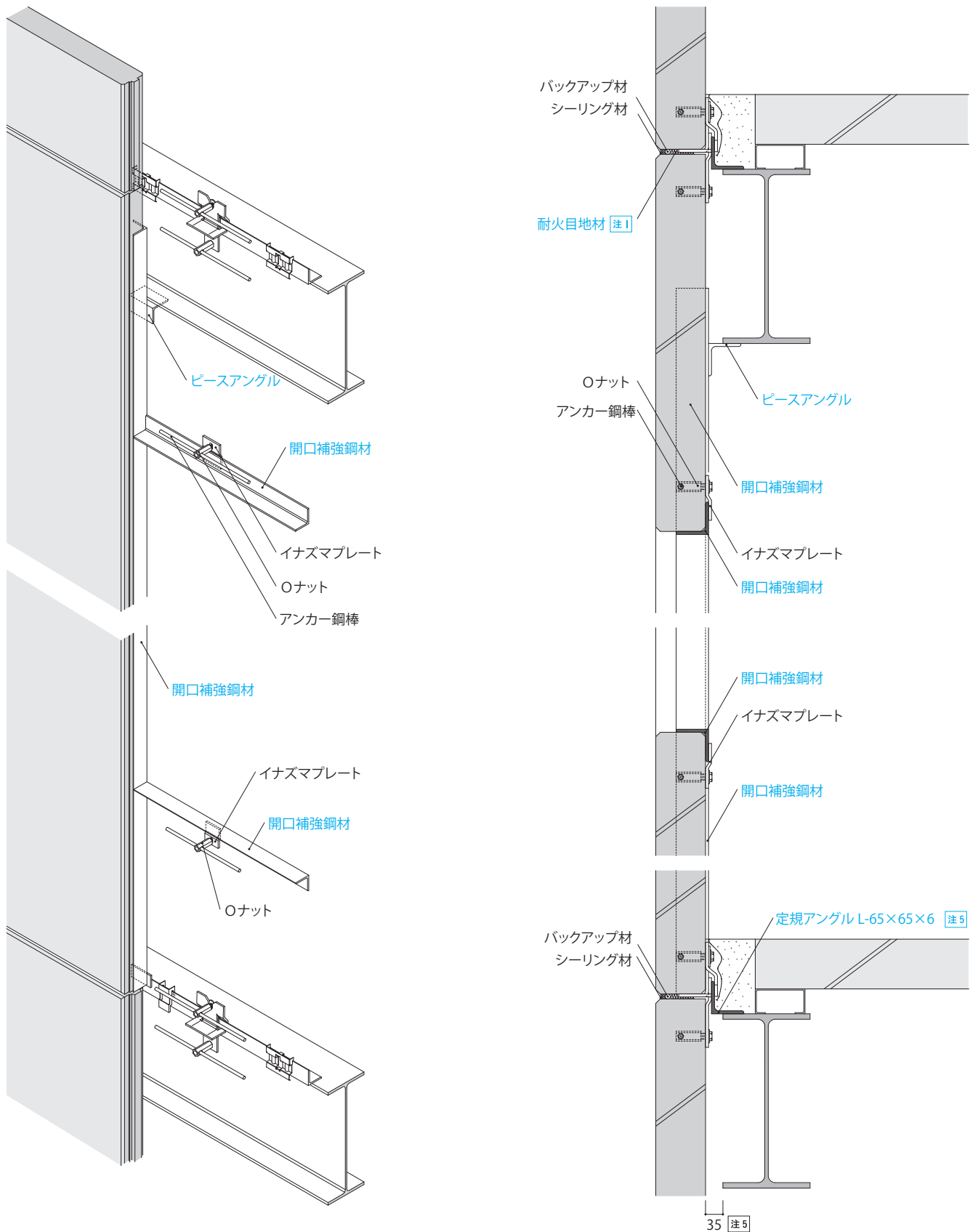
注5 平パネル厚さ150mmの場合、自重受け金具を取り付ける定規アングルはL-75×75×6を使用する。またパネルと躯体とのクリアランスは45～50mmとする。

出隅部 / G 部 (スマートコーナーを使用する場合)



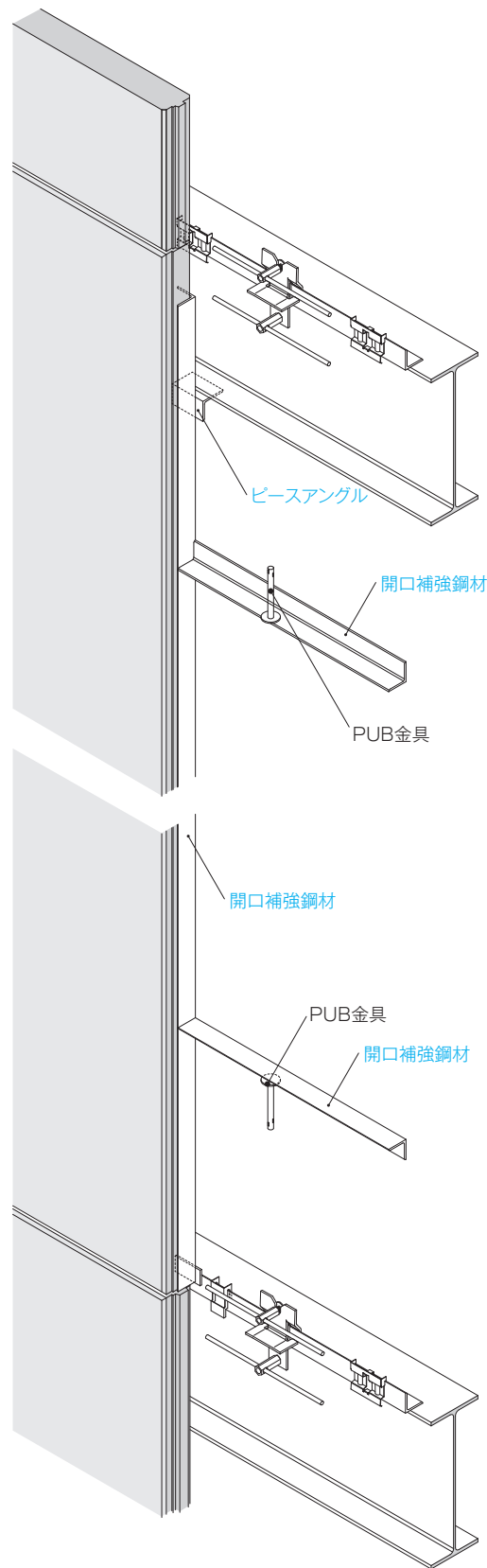
注1 耐火目地材：横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てる。

開口部/H部 (Oナット仕様)



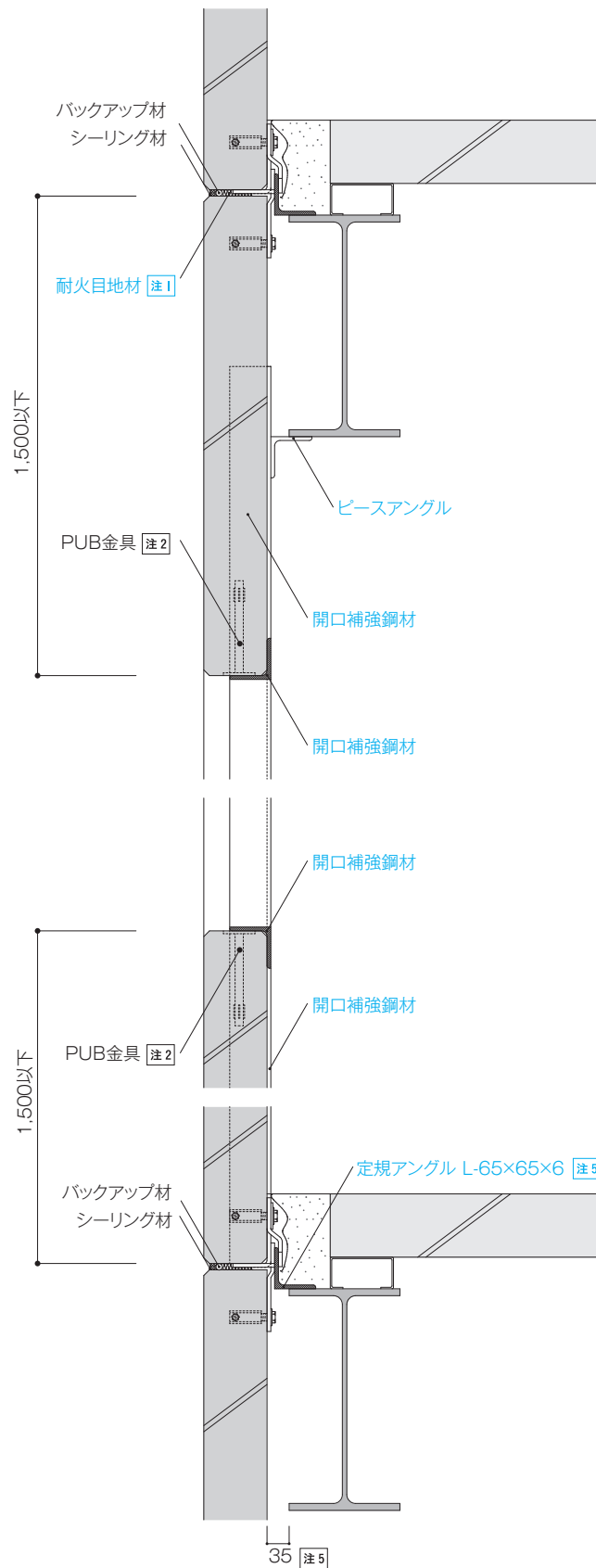
[注5] 平パネル厚さ150mmの場合、自重受け金具を取り付ける定規アングルはL-75×75×6を使用する。またパネルと躯体とのクリアランスは45～50mmとする。

開口部/H部 (PUB 金具仕様)



- 注1 耐火目地材：横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てる。
- 注2 PUB金具：開口部周辺のパネルを PUB金具で取り付ける場合、パネル長さ1,500mm以下で、負の風圧力2,000N/m²以下の場合に使用できる。ただし、はね出しで使用する場合は、所定の許容荷重以下であることを確認する。

開口部 /H 部 (PUB 金具仕様)



注5 平パネル厚さ150mmの場合、自重受け金具を取り付ける定規アングルはL-75×75×6を使用する。またパネルと躯体とのクリアランスは45～50mmとする。